

福井新町長あいさつ

(五月臨時議会冒頭でのあいさつ)

おはようございます。私にとりましては、臨時議会は初めての議会ですので、一言ご挨拶を申し上げます。さて牟岐町の現状は、毎

年人口が百人を超えて減少し、空家、空き店舗が増え、農地は耕作放棄地が増えていきます。このような状況をなんとか改善したい、牟岐町を再生したいという思いで町長に立候補し、当選いたしました。



福井町長 初登庁(4月27日)

この選挙で私が公約としてまいりましたことは、三つございまして、第一には来たるべき東南海、南海地震、今では東海地震を含めた、東海、東南海、南海地震に対応できるような津波避難所を早急に設置する。第二には、牟岐町のこの衰退の原因と言いますか、若者の仕事、この仕事を何と少しでも増やしたい、今よりも増やしたいということです。最後に住民の方の強い要望ですけれども、住民を主体とした、住民に開かれた行政を行って欲しいということなんです。これを実現達成するためにこれから四年間、私は、最大限の努力をいたしますし、皆様方もご努力をお願いしたいと思います。

選挙期間中から話題になっていますが、町長給与を削減し、その削減分の活性化への利用、これは私の町長の就任にあたりましての決意表明と考えていますし、その削減したものを有効活用するということは、現時点におきましては、町の活

性化策として非常に有効と考えています。当然、これから事業を行うにあたりましては、住民の皆様と一緒にやって、協同してやっていくということなんです。住民に開かれたと言うよりは更に前進し、住民と一緒にやっていくということで、進めてまいりたいと考えています。中国の司馬遷の史記に「一念岩をも通す」ということわざがございますが、

皆様方におかれましては、牟岐町の再生を一念としていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



三月定例議会の

議案の内容と審議

定例議会が三月八日から十日まで開かれました。

開会日には大神町長が条例改正案、人事案、補正予算案、新年度予算案などの提案説明を行いました。

再開日には四名の議員が一般質問に立ち、学校ICT化、健康管理センター、産業振興策、過疎化対策などについて論議されました。

そして、町長提出の条例改正案など議案二十七件が全て可決されました。